

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成26年3月13日 (2014.3.13)

【公表番号】特表2013-518882(P2013-518882A)

【公表日】平成25年5月23日 (2013.5.23)

【年通号数】公開・登録公報2013-026

【出願番号】特願2012-551997(P2012-551997)

【国際特許分類】

C 07 D 487/04 (2006.01)

A 61 K 31/519 (2006.01)

A 61 P 37/08 (2006.01)

A 61 P 17/00 (2006.01)

A 61 P 17/04 (2006.01)

A 61 P 25/00 (2006.01)

A 61 P 27/02 (2006.01)

A 61 P 11/00 (2006.01)

A 61 P 37/02 (2006.01)

A 61 P 1/04 (2006.01)

A 61 P 19/02 (2006.01)

A 61 P 35/00 (2006.01)

【F I】

C 07 D 487/04 1 4 0

C 07 D 487/04 C S P

A 61 K 31/519

A 61 P 37/08

A 61 P 17/00

A 61 P 17/04

A 61 P 25/00

A 61 P 27/02

A 61 P 11/00

A 61 P 37/02

A 61 P 1/04

A 61 P 19/02

A 61 P 35/00

【手続補正書】

【提出日】平成26年1月21日 (2014.1.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

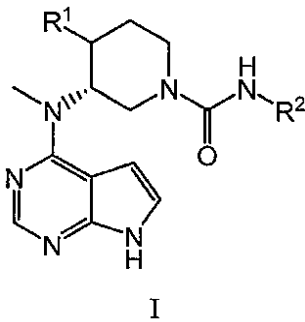
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

式 I の化合物：

## 【化 1】

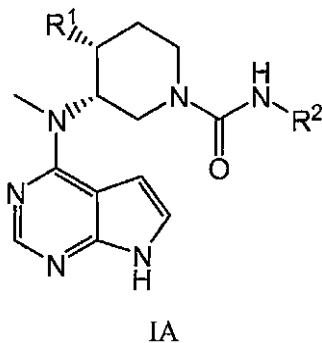


または薬学的に許容できるその塩（式中、 $R^1$  は、Hまたは $-C_1 \sim 4$ アルキルであり、 $R^2$  は、 $-OH$ または $-OCH_3$ によって置換されていてもよいチアジアゾール基である）。

## 【請求項 2】

式 I A の化合物

## 【化 2】



または薬学的に許容できるその塩である、請求項 1 に記載の化合物。

## 【請求項 3】

$R^1$  が、メチルである、請求項 1 または 2 に記載の化合物 または薬学的に許容できるその塩。

## 【請求項 4】

$R^2$  が、1, 3, 4 - チアジアゾール - 2 - イルである、請求項 1 または 2 に記載の化合物 または薬学的に許容できるその塩。

## 【請求項 5】

$R^2$  が、3 - メトキシ - 1, 2, 4 - チアジアゾール - 5 - イルである、請求項 1 または 2 に記載の化合物 または薬学的に許容できるその塩。

## 【請求項 6】

(3R, 4R) - 4 - メチル - 3 - [メチル(7H - ピロロ[2, 3 - d]ピリミジン - 4 - イル)アミノ] - N - (1, 3, 4 - チアジアゾール - 2 - イル)ピペリジン - 1 - カルボキサミドである、請求項 1 に記載の化合物 または薬学的に許容できるその塩。

## 【請求項 7】

(3R, 4R) - N - (3 - メトキシ - 1, 2, 4 - チアジアゾール - 5 - イル) - 4 - メチル - 3 - [メチル(7H - ピロロ[2, 3 - d]ピリミジン - 4 - イル)アミノ]ピペリジン - 1 - カルボキサミドである、請求項 1 に記載の化合物 または薬学的に許容できるその塩。

## 【請求項 8】

請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項に記載の化合物、または薬学的に許容できるその塩、および薬学的に許容できる担体を含む医薬組成物。

## 【請求項 9】

哺乳動物におけるアレルギー反応、アレルギー性皮膚炎、アトピー性皮膚炎、湿疹、またはそう痒症を治療する ための医薬であって、治療有効量の請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項

に記載の化合物または薬学的に許容できるその塩を含む医薬。

【請求項 10】

前記治療有効量が、 $0.01 \text{ mg/kg}$  体重/日～ $100 \text{ mg/kg}$  体重/日である、請求項 9 に記載の医薬。

【請求項 11】

前記治療有効量が、 $0.1 \text{ mg/kg}$  体重/日～ $10 \text{ mg/kg}$  体重/日である、請求項 9 に記載の医薬。

【請求項 12】

前記治療有効量が、 $0.2 \text{ mg/kg}$  体重/日～ $1.5 \text{ mg/kg}$  体重/日である、請求項 9 に記載の医薬。

【請求項 13】

前記哺乳動物が、愛玩動物を含む、請求項 9 に記載の医薬。

【請求項 14】

前記愛玩動物が、イヌである、請求項 13 に記載の医薬。

【請求項 15】

前記哺乳動物が、家畜を含む、請求項 9 に記載の医薬。

【請求項 16】

経口、非経口、または局所的に投与される、請求項 9 に記載の医薬。

【請求項 17】

哺乳動物における神経変性疾患、角結膜炎、慢性呼吸器疾患、自己免疫疾患、炎症性腸疾患、新形成、および関節炎状態を治療するための医薬であって、治療有効量の請求項 1～7 のいずれか 1 項に記載の化合物または薬学的に許容できるその塩を含む医薬。